



2026年12月期 第2四半期 (中間期) 決算短信〔日本基準〕 (連結)

2026年8月10日

上場会社名 タツモ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6266 URL <https://tazmo.co.jp/ir/library/#irlib-report01>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 泰之
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉國 久雄 TEL 086-239-5000
半期報告書提出予定日 2026年8月10日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第2四半期 (中間期) の連結業績 (2026年1月1日~2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	12,684	△24.4	123	△95.1	270	△88.6	35	△97.8
2025年12月期中間期	16,787	3.4	2,517	△11.2	2,384	△20.0	1,645	△20.4

(注) 包括利益 2026年12月期中間期 326百万円 (△64.9%) 2025年12月期中間期 932百万円 (△67.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	2.48	-
2025年12月期中間期	113.29	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年12月期中間期	48,520	26,907	54.4	1,821.00
2025年12月期	46,893	27,037	56.6	1,834.03

(参考) 自己資本 2026年12月期中間期 26,391百万円 2025年12月期 26,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	-	0.00	-	34.00	34.00
2026年12月期	-	0.00			
2026年12月期 (予想)			-	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	35,500	0.2	3,600	△24.5	3,500	△30.1	2,500	△29.4
								170.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期中間期	14,842,354株	2025年12月期	14,842,354株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	349,418株	2025年12月期	370,046株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年12月期中間期	14,479,568株	2025年12月期中間期	14,521,181株

※ 第2四半期(中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10
(中間連結貸借対照表に関する注記)	11
(中間連結損益計算書に関する注記)	11
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12
3. 補足情報	13
(受注状況)	13

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における経営環境は、国内経済においては、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、原材料価格やエネルギー価格の高止まり、為替相場の変動などにより、先行きについては依然として不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する半導体業界におきましては、AIサーバー向けを中心に需要は引き続き旺盛に推移しており、これに伴い、メモリー半導体については供給不足の状況が継続し、価格の上昇基調が見られました。

このような状況のなか当社グループは、中長期的な成長に向けて、顧客ニーズに対応した装置の開発や生産活動に注力してまいりました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は126億84百万円（前年同期比24.4%減）、営業利益1億23百万円（前年同期比95.1%減）、経常利益2億70百万円（前年同期比88.6%減）、親会社株主に帰属する中間純利益35百万円（前年同期比97.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、2026年12月期1四半期連結会計期間より、報告セグメント「プロセス機器事業」内の「コーター」を「半導体装置」に含めて区分をしており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の区分に組み替えた数値で比較しております。

（プロセス機器事業）

半導体装置部門につきましては、出荷済み装置の検収の遅れなどが影響し、売上高は60億80百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

搬送装置部門につきましては、受注状況は回復傾向にあるものの、売上計上できる案件が少なかったため、売上高は34億52百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

洗浄装置部門につきましては、ウェーハメーカーの設備投資が鈍化していることから、売上高は11億35百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

以上の結果、プロセス機器事業の売上高は106億68百万円（前年同期比12.5%減）、営業利益2億20百万円（前年同期比88.5%減）となりました。

（金型・樹脂成形事業）

金型・樹脂成形事業につきましては、概ね計画通りであったものの、原材料の高騰や工場移転費用などの発生により、売上高は5億63百万円（前年同期比7%減）、営業損失2百万円（前年同期は56百万円の営業利益）となりました。

（表面処理用機器事業）

表面処理用機器事業につきましては、出荷済み装置の検収遅れなどから売上高14億52百万円（前年同期比63.6%減）、営業損失89百万円（前年同期は5億17百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は383億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億73百万円増加しました。主な要因は、「現金及び預金」の減少14億98百万円、「受取手形及び売掛金」の増加3億97百万円、「電子記録債権」の減少5億88百万円、「棚卸資産」の増加17億95百万円、「その他」の増加4億17百万円によるものであります。有形固定資産は88億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億63百万円増加しました。主な要因は、「機械装置及び運搬具」の増加4億96百万円、「その他」の増加5億86百万円によるものであります。無形固定資産は1億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少しました。この要因は、「ソフトウェア」の減少4百万円、「その他」の減少1百万円によるものであります。投資その他の資産は10億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少しました。主な要因は、「繰延税金資産」の減少17百万円、「その他」の増加10百万円によるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16億26百万円増加し、485億20百万円となりました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は158億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億99百万円の増加となりました。主な要因は、「支払手形及び買掛金」の増加8億88百万円、「短期借入金」の増加3億21百万円、「契約負債」の増加25億57百万円、「電子記録債務」の減少14億78百万円、「未払金」の増加1億89百万円、「未払法人税等」の減少6億76百万円によるものであります。固定負債は57億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億57百万円の増加となりました。主な要因は、「その他」の減少12百万円、「長期借入金」の増加2億7百万円によるものであります。

これらの結果、当中間連結会計期間末の負債総額は、前連結会計年度末に比べ17億57百万円増加し、216億12百万円となりました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は269億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億30百万円の減少となりました。主な要因は、「利益剰余金」の減少4億61百万円、「資本剰余金」の増加2百万円、「自己株式」の減少39百万円、「非支配株主持分」の増加20百万円、「為替換算調整勘定」の増加2億68百万円によるものであります。

②当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ4億89百万円減少し134億56百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は3億36百万円(前年同期は43億94百万円の獲得)となりました。これは、税金等調整前中間純利益2億70百万円、減価償却費5億22百万円、売上債権の減少2億49百万円、契約負債の増加24億3百万円を主とする資金の増加と、棚卸資産の増加16億76百万円、仕入債務の減少6億63百万円、法人税等の支払額8億26百万円を主とする資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億90百万円(前年同期比93.6%減)となりました。これは、定期預金の純減少10億56百万円と有形固定資産の取得13億27百万円を主とする資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は7百万円(前年同期は5億56百万円の支出)となりました。これは、短期借入金の借入1億70百万円、長期借入金の借入20億円による資金の増加と、長期借入金の返済16億40百万円、配当金の支払い4億97百万円を主とする資金の減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおきましては、半導体業界の中でも設備投資が堅調に推移しているアドバンスドパッケージ向け半導体製造装置を中心に事業を進めておりますが、当第2四半期（中間期）の連結業績は、出荷済み装置の検収遅れなどにより売上高は計画を下回りました。また利益につきましても、検収遅れによる売上高の減少や、検収が長引いている装置の評価減、原価増加が判明した装置の原価増加分の計上等により営業利益・経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益が計画を下回りました。

このような状況を踏まえ、2026年2月13日に公表しました、2026年12月期第2四半期（中間期）連結業績予想を下方修正いたしました。詳細につきましては、2026年8月5日公表の「2026年12月期第2四半期（中間期）連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2026年12月期通期の連結業績につきましては、現時点では達成可能と見込んでおりますので変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,274,465	14,775,526
受取手形及び売掛金	3,019,861	3,417,060
電子記録債権	2,539,187	1,950,981
棚卸資産	15,410,284	17,205,618
その他	650,779	1,068,381
貸倒引当金	△84,608	△34,054
流動資産合計	37,809,969	38,383,513
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,672,924	3,654,028
機械装置及び運搬具(純額)	1,651,827	2,148,103
土地	1,449,516	1,449,516
その他(純額)	1,038,510	1,624,948
有形固定資産合計	7,812,778	8,876,596
無形固定資産		
ソフトウェア	154,900	150,621
その他	44,566	43,260
無形固定資産合計	199,466	193,882
投資その他の資産		
投資有価証券	23,924	26,603
繰延税金資産	651,882	634,022
その他	395,188	405,489
投資その他の資産合計	1,070,995	1,066,114
固定資産合計	9,083,241	10,136,594
資産合計	46,893,210	48,520,108

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,565,571	2,454,172
電子記録債務	2,011,901	532,996
短期借入金	3,265,446	3,587,295
未払金	1,595,168	1,784,901
未払法人税等	912,101	235,683
契約負債	3,659,601	6,216,797
賞与引当金	337,947	311,498
製品保証引当金	638,228	501,533
株式給付引当金	11,183	6,709
その他	395,937	260,690
流動負債合計	14,393,086	15,892,279
固定負債		
長期借入金	4,645,009	4,852,822
株式給付引当金	344,706	358,449
役員退職慰労引当金	35,040	37,336
退職給付に係る負債	82,711	74,771
資産除去債務	211,336	266,082
その他	143,921	131,095
固定負債合計	5,462,724	5,720,558
負債合計	19,855,811	21,612,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,568,590	3,568,590
資本剰余金	3,420,931	3,423,160
利益剰余金	19,140,774	18,678,839
自己株式	△739,532	△699,822
株主資本合計	25,390,763	24,970,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△176	△146
為替換算調整勘定	1,152,556	1,421,448
退職給付に係る調整累計額	△486	△501
その他の包括利益累計額合計	1,151,892	1,420,801
非支配株主持分	494,741	515,701
純資産合計	27,037,398	26,907,270
負債純資産合計	46,893,210	48,520,108

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	16,787,505	12,684,558
売上原価	11,556,351	9,086,206
売上総利益	5,231,153	3,598,351
販売費及び一般管理費	2,713,212	3,475,112
営業利益	2,517,941	123,239
営業外収益		
受取利息	28,259	80,221
為替差益	—	89,677
補助金収入	2,706	2,438
その他	17,791	20,859
営業外収益合計	48,756	193,197
営業外費用		
支払利息	40,838	42,167
為替差損	121,327	—
その他	20,296	3,369
営業外費用合計	182,462	45,536
経常利益	2,384,235	270,900
特別利益		
固定資産売却益	16,592	—
特別利益合計	16,592	—
税金等調整前中間純利益	2,400,828	270,900
法人税等	746,938	232,449
中間純利益	1,653,890	38,451
非支配株主に帰属する中間純利益	8,856	2,571
親会社株主に帰属する中間純利益	1,645,033	35,879

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	1,653,890	38,451
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△121	30
為替換算調整勘定	△721,527	288,398
退職給付に係る調整額	—	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	△144	△39
その他の包括利益合計	△721,793	288,374
中間包括利益	932,096	326,825
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	974,876	304,788
非支配株主に係る中間包括利益	△42,780	22,037

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,400,828	270,900
減価償却費	462,925	522,290
固定資産売却益	△16,592	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11,349	△50,554
賞与引当金の増減額(△は減少)	△83,445	△26,449
株式給付引当金の増減額(△は減少)	27,969	27,482
売上債権の増減額(△は増加)	1,650,018	249,711
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,050,026	△1,676,954
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,897,565	△663,365
契約負債の増減額(△は減少)	1,597,512	2,403,223
その他	345,226	△605,965
小計	5,525,553	450,318
法人税等の支払額	△1,118,545	△826,828
その他の支出	△12,579	40,492
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,394,428	△336,016
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△3,759,859	1,056,368
投資有価証券の取得による支出	△60	△60
有形固定資産の売却による収入	18,338	—
有形固定資産の取得による支出	△749,500	△1,327,090
無形固定資産の取得による支出	△34,371	△25,589
その他	△14,902	5,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,540,355	△290,888
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	170,000
長期借入れによる収入	2,000,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,510,812	△1,640,338
配当金の支払額	△488,246	△497,094
非支配株主への配当金の支払額	△5,390	△1,078
自己株式の取得による支出	△511,766	△167
その他	△40,114	△23,432
財務活動によるキャッシュ・フロー	△556,329	7,889
現金及び現金同等物に係る換算差額	△311,313	129,029
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,013,570	△489,986
現金及び現金同等物の期首残高	9,733,357	13,946,965
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,719,787	13,456,978

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

※1 棚卸資産の内訳は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
商品及び製品	58,221千円	62,384千円
仕掛品	11,655,985	13,201,219
原材料及び貯蔵品	3,696,077	3,942,014

※2 期末日満期手形等の処理

期末日満期手形等の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形等の金額が前連結会計年度末日の残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
電子記録債権	60,539千円	－千円
電子記録債務	718,276	－

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費用及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
給与手当	633,732千円	736,221千円
賞与引当金繰入額	117,034	123,523
役員退職慰労引当金繰入額	2,147	2,296
退職給付費用	27,708	36,817
研究開発費	240,064	541,194
減価償却費	149,585	181,818

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
現金及び預金勘定	12,996,632千円	14,775,526千円
預入期間が3か月を超える定期預金	△4,224,938	△1,266,041
信託口預金	△51,906	△52,506
現金及び現金同等物	8,719,787	13,456,978

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2025年1月1日 至2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	中間連結損益計 算書計上額 (注) 3
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業	表面処理用 機器事業			
売上高						
半導体装置	7,088,466	—	—	7,088,466	—	7,088,466
搬送装置	3,911,287	—	—	3,911,287	—	3,911,287
洗浄装置	1,194,168	—	—	1,194,168	—	1,194,168
金型・樹脂成形	—	606,506	—	606,506	—	606,506
表面処理用機器	—	—	3,987,076	3,987,076	—	3,987,076
顧客との契約から生じる 収益	12,193,922	606,506	3,987,076	16,787,505	—	16,787,505
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,193,922	606,506	3,987,076	16,787,505	—	16,787,505
セグメント間の内部売上 高又は振替高	141,832	50,086	—	191,919	△191,919	—
計	12,335,755	656,592	3,987,076	16,979,424	△191,919	16,787,505
セグメント利益	1,920,353	56,015	517,046	2,493,415	24,526	2,517,941

(注) 1. 2026年12月期第一四半期連結会計期間より、プロセス機器事業の「コーター」は「半導体装置」に含めて区分する方法に変更しておりますので、前中間連結会計期間のセグメント情報についても、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当中間連結会計期間(自2026年1月1日 至2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	中間連結損益計 算書計上額 (注) 3
	プロセス機器 事業	金型・樹脂 成形事業	表面処理用 機器事業			
売上高						
半導体装置	6,080,216	—	—	6,080,216	—	6,080,216
搬送装置	3,452,604	—	—	3,452,604	—	3,452,604
洗浄装置	1,135,474	—	—	1,135,474	—	1,135,474
金型・樹脂成形	—	563,952	—	563,952	—	563,952
表面処理用機器	—	—	1,452,311	1,452,311	—	1,452,311
顧客との契約から生じる 収益	10,668,294	563,952	1,452,311	12,684,558	—	12,684,558
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,668,294	563,952	1,452,311	12,684,558	—	12,684,558
セグメント間の内部売上 高又は振替高	339,101	4,172	—	343,273	△343,273	—
計	11,007,396	568,124	1,452,311	13,027,831	△343,273	12,684,558
セグメント利益又は損失 (△)	220,593	△2,083	△89,924	128,585	△5,346	123,239

(注) 1. 2026年12月期第一四半期連結会計期間より、プロセス機器事業の「コーター」は「半導体装置」に含めて区分する方法に変更しております。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に係る未実現利益の調整であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3. 補足情報

(受注状況)

当中間連結会計期間の受注状況をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

1. 受注高

セグメントの名称		前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日) (千円)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業		8,026,223	36,627,797	456.9
	半導体装置	3,275,031	30,139,357	920.3
	搬送装置	3,926,476	5,596,043	142.5
	洗浄装置	824,716	937,397	113.7
金型・樹脂成形事業		658,185	624,586	94.9
表面処理用機器事業		1,082,481	10,472,623	967.5
合計		9,766,891	47,770,007	489.1

(注) 1. 2026年12月期第一四半期連結会計期間より、プロセス機器事業の「コーター」は「半導体装置」に含めて区分する方法に変更しておりますので、前中間連結会計期間の受注高についても、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. 受注残高

セグメントの名称		前中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日) (千円)	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日) (千円)	前年同期比 (%)
プロセス機器事業		21,236,882	43,718,250	205.9
	半導体装置	15,557,573	36,901,469	237.2
	搬送機器	3,740,638	4,960,436	132.6
	洗浄装置	1,938,671	1,856,344	95.8
金型・樹脂成形事業		221,869	230,991	104.1
表面処理用機器事業		2,668,677	10,794,392	404.5
合計		24,127,430	54,743,633	226.9

(注) 1. 2026年12月期第一四半期連結会計期間より、プロセス機器事業の「コーター」は「半導体装置」に含めて区分する方法に変更しておりますので、前中間連結会計期間の受注残高についても、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。